

奨学金一覧(HP掲載) (2024/1/9～)

応募方法	締切	名称	募集人数	種別	金額	要件等
個人応募	制限なし	大学生協学業継続奨学金	なし	給付	一括：12万円	・扶養者が死亡したため、学業継続が経済的に著しく困難であることとする。 ・扶養者死亡後原則として6ヶ月以内の応募であること。ただし、学籍取得前の扶養者死亡の場合は応募できないものとする。
大学応募	2025/7/16	小林育英会奨学金	学部1年：3名	給付	月額2万5千円	・大学学部生であること。 ・本人名義の口座を持っていること。 ※関連ファイルより、募集要項、履歴書、願書等をご確認ください。 ※推薦書の学長印、推薦順位の箇所は空欄でご提出ください。
個人応募	2025/7/31	伏見記念財団奨学金	院（前期・後期）：若干名	給付	院前期：月額3万円 院後期：月額5万円	・令和7年4月に日本国内の大学院に在籍し、日本の歴史文化又は文化に関する研究を行う、日本国籍を有する者。修士課程（博士前期課程）は30歳未満、博士課程後期は35歳未満（令和7年4月1日時点）の者。
個人応募	2026/2/2～2026/4/3	キーエンス財団2026年度奨学金	学部1年：若干名	給付	月額10万円	・2026年4月に日本の大学に入学する者 ・2026年4月1日現在、20歳以下である者 ・経済的な支援を必要とする者
個人応募	2025/10/1～2025/11/14	キーエンス財団 貸与奨学金返還支援	学部4年：若干名	—	JASSOの返還総額の 50%を一括で返還 （ただし、最大240万円まで）	・2026年3月に日本の大学を最短修業年限にて卒業する見込みがある者 ・2025年4月1日現在、23歳以下である者 ・JASSOの貸与奨学金を受けている者 ・返還期限猶予の対象者は除く。 ・当財団の4年間給付型奨学金を受けたことがない者 ・在籍大学が当財団からの求めに応じ選考に必要な情報を提供することに同意できる者 ・勉学に励み価値ある大学生活を送っている大学生
大学応募	2025/8/5	大学女性協会一般奨学生奨学金	院（前期・後期）：1名	給付	年額30万円	・文部科学省の認可する大学の大学院に在籍する女子学生で、学業・研究・人物ともに優れた者。
大学応募	2025/8/5	大学女性協会 社会福祉奨学生奨学金	学部2～4年、院（前期・後期）：1名	給付	学部：年額20万円 院（前期・後期）：年額30万円	・文部科学省の認可する大学の学部に在籍一年以上または大学院に在籍する女子学生で、身体に障害があり、かつ学業・研究・人物ともに優れた者。
個人応募	2025/8/31	正林真之記念奨学金	学部3年：若干名	給付	年額48万円	・日本国籍を有すること ・国内の大学の理工系学部 に在籍する学部3年生であること ・応募締切日時点で年齢25才以下であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること

個人応募	2025/8/29	令和8年度菊地久治勉学奨励金	学部：若干名	給付	入学金、授業料、施設費等学校納付金として年間150万円を限度とする実費です。 （※奨学金は、特別な場合を除いて返済の義務はありません。） ・佐倉市在住であり、ひとり親世帯かつ低所得世帯に属していること。 ・健康であり、学業成績、人物ともに優秀であること。 ※大学等における総評定のうちA判定が1／3以上であることを目安とします。 ・学費の援助を必要とする家計状況であること。 ・学校教育法に規程する4年制の大学または短期大学に在学する者であって満23歳未満の方。 また、下記①②のどちらかに該当すること。 ①大学及び短期大学の学部・学科・専攻等が概ね偏差値60以上であること。 （あくまで目安ですので個別にご相談ください。） ②大学及び短期大学では福祉学を専攻し、将来福祉分野での仕事に就くことを目指している。 ・国の実施する給付型奨学金を受給もしくは既に申請をしていること。 ※推薦書の学長印を依頼する場合は、2025/8/7までに提出書類一式をご用意の上、学生・キャリア支援課までご依頼ください。
個人応募	2025/9/20	渥美国際交流財団奨学金	院（後期）；若干名	給付	・日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。 ・渥美奨学金の受給期間に、所属する大学院研究科（研究室）と居住地が、関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）または近畿地方（大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県・三重県）にある方。 ・国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。 ・日本語が堪能な方（応募書類と面接は全て日本語だけです）。日本人は外国語能力が高いことが望ましいですが条件ではありません。 ・渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方。 （当財団は常勤職の方の受給、および月額10万円以上の他の奨学金との重複受給は認めません。）
大学応募	2025/10/1	大学女性協会チャレンジ奨学生奨学金	学部3年、院（前期）1年：若干名	給付	23ヶ月以上の就労（アルバイトを除く）の後、大学の3年次または大学院1年次に在学する女性・性自認女性とする。卒業または修士課程修了まで同大学・大学院に在学することを条件とする。就労以前の学歴は問わない。